

第 1 学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
	【知識・技能】	曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す気分などに気付き、思いに合った表現をするために必要な歌唱、器楽づくりの五能を十分に身に付けている。	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【思考・判断・表現】	曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもって表現している。曲や演奏の楽しさを見出しながら曲全体を味わって聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴いている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【態度】	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしてしている。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしてしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標		評価規準	
4	1. うたって おどって なかよく なろう 扱い時数 4 ♪どみそらんど （導入）きいて うごこう （歌探し） （導入）うたって なかよく なろう ♪セブン ステップス ♪チェツ チェツ コリ ・ともだちと いっしょに おどりましょう。 (共) ひらいた ひらいた ・みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。	【知・技】 (曲想と速度や拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 リズム、旋律、速度、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 音楽を聴いて体を動かしたり声を合わせたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。		
5. 6	2. はくを かんじとろう 扱い時数 7 （そだてよう）おとで おはなし （そだてよう）手拍子で リレー ♪さんぽ ・おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。 ◇○じゃんけんぽん ・[たん たん たん (うん)] の リズムで あそびましょう。 ◇○みんなで あそぼう ・うたに あわせて リズムを うちましょう。	【知・技】 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 拍やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に音楽に親しむ態度を養う。		
6. 7	3. はくに のって リズムを うとう 扱い時数 9 ♪しろくまの ジェンカ ・おんがくに あわせて リズムを うちながら ききましょう。 (共) かたつむり ・はくに のって、あかるい こえで うたいましょう。 ◇○ぶん ぶん ぶん ・たんと たたの ちがいに きづいて リズムを うちましょう。 ☆ことばで リズム ・たんと たたを つかって ことばで リズムを つくりましょう。 (共) う み ・うみの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	【知・技】 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、器楽の技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 リズム、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 リズムや拍に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、いろいろなリズムに親しむ。		

7	4. みの まわりの おとに みみを すまそう 扱い時数2 ☆おとを さがして あそぼう ・みつけた おとで よびかけあいましょう。	<p>【知・技】 身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。</p> <p>【思・判・表】 身の回りの音や呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、声の出し方やつなげ方を試して、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>【態】 身の回りの音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。</p>
9.10	5. . . . どれみと なかよく なろう 扱い時数 8 ◇たのしく ふこう ・けんぱんハーモニカで いろいろな おとを みつけましょう。 ◇どんぐりさんの おうち ・どと その おとと ともだちに なりましょう。 (そだてよう)けんぱんハーモニカで おとあそび ♪みつばちハニーの ぼうけん ・けんぱんハーモニカの おとを ききましょう。 ◇○なかよし ・どれみふぁその おとと なかよしに なりましょう。 (共)ひのまる ・おとの たかさに きを つけながら うたいましょう。	<p>【知・技】 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。</p> <p>【思・判・表】 音色、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>【態】 階名と、鍵盤ハーモニカの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と仲良く学習する態度を養う。</p>
10	6. せんりつで よびかけあおう 扱い時数 6 ○やまびこ ごっこ ・たがいの こえを ききながら よびかけあって うたいましょう。 ☆せんりつの よびかけっこ ・よびかけあうように せんりつを つなげて あそびましょう。 ♪こうしんきょく ・せんりつが よびかけあう おもしろさを かんじながら ききましょう。	<p>【知・技】 曲想と旋律、呼びかけとこたえなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、互いの歌声を聴いて、声を合わせて歌う技能、呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>【思・判・表】 音色、旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>【態】 呼びかけ合う音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の呼びかけ合いに親しむ。</p>
11	7. がっきと なかよく なろう 扱い時数 6 ◇おとさがし ・いろいろな おとを みつけて ならしましょう。 ◇さがして みよう ならして みよう ・きに いった おとを みつけて、うたと いっしょに ならしましょう。 ☆えから うまれる おんがく ・えから おもいうかべた おとを くみあわせて、おんがくを つくりましょう。 ♪シンコペーテッド クロック ・みみを すまして がっきの おとを ききましょう。	<p>【知・技】 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>【思・判・表】 音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>【態】 打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、互いの音の出し方を比べながら表現し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる打楽器の音色に親しむ。</p>

12	8. ようすを おもいうかべよう 扱い時数8 ○◇きらきらぼし ・ほしぞらの ようすを おもいうかべながら、うたったり えんそうしたり しましょう。 ♪にんぎょうの ゆめと めざめ ・にんぎょうの ようすを おもいうかべながら ききましょう。 ○はる なつ あき ふゆ ・かし(・・)の ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	【知・技】 曲想と音色、速度、旋律、強弱などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、音色に気を付けて、旋律楽器を演奏する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 音楽や歌詞の内容を基に情景を思い浮かべる学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。
1 - 2	9. にほんの うたを たのしもう 扱い時数 4 ♪さんちゃんが／おおなみ こなみ ・わらべうたを きいたり うたったり して あそびましょう。 ○おちゃらか ほい ・ともだちと いっしょに あそびながら うたいましょう。	【知・技】 曲想と旋律、拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのような歌い方や遊び方にするかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 わらべうたの旋律や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、生活の中の遊びに生かす。
2 - 3	10. みんなで あわせて たのしもう 扱い時数10 ○あいあい ・たがいの うたごえを ききあいながら うたいましょう。 ◇○とんくるりん ばんくるりん ・うたごえと がっきの おとを あわせて えんそうしましょう。 ◇○こいぬの マーチ ・たがいの がっきの おとを ききあいながら えんそうしましょう。 ♪クシコスポスト ・がっそうの たのしさを かんじながら ききましょう。	【知・技】 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、音のつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能や、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、リズム、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 打楽器の音色や演奏の仕方に興味をもち、互いの音の出し方を比べながら表現し、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる打楽器の音色に親しむ。

第2学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知識・技能】		曲想と音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す気分などに気付き、思いに合った表現をするために必要な歌唱、器楽づくりの五能を十分に身に付けている。	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【思考・判断・表現】		曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもって表現している。曲や演奏の楽しさを見出しながら曲全体を味わって聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見出しながら音楽を味わって聴いている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【態度】		楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標		評価規準	
4	1. 音楽で みんなと つながろう 扱い時数 4 ○メッセージ ・自分の こえや ともだちの こえを よく きいて うたいましょう。 ♪小犬の ビンゴ ♪ロンドンばし ・ともだちと せかいの あそびうたを 楽しみましょう。 (共)かくれんぼ ・かくれんぼで あそんで いる ようすを おもいうかべながら うたいましょう。 ♪ティニクリン／エース オブ ダイヤモンド／とーしん ドーイ ♪ドードレブスカ ポルカ ・いろいろな くのにの おどりの 音楽を 楽しみましょう。	【知・技】 曲想と拍などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 音色、リズム、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 曲想を感じ取って音楽を聴いたり、声を合わせて歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の遊びうた、踊りの音楽に親しむ。		
5	2. はくの まとまりを かんじとろう 扱い時数6 ○はしの 上で (そだてよう) 2びょうしで リズムあそび① ・はくの まとまりを かんじとりながら うたいましょう。 ○たぬきの たいこ (そだてよう) 3びょうしで リズムあそび ・はくの まとまりを かんじとりながら うたいましょう。 ♪ミッキーマウス マーチ／メヌエット ・ 2びょうしと 3びょうしの ちがいに 気を つけて ききましょう。	【知・技】 曲想とリズムや拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 リズム、旋律、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 拍子の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組む。		
6	3. ドレミで あそぼう 扱い時数10 ♪○ドレミの うた ・音の たかさに 気を つけながら、きいたり うたったり しましょう。 ◇○かっこう ・音の たかさに 気を つけながら、うたったり ふいたり しましょう。 ◇○かえるの がっしょう ・音の たかさに 気を つけながら、うたや 鍵盤ハーモニカで おいかけっこを しましょう。 ◇○ぷっかり くじら ・うたに あわせて 鍵盤ハーモニカを ふきましょう。	【知・技】 曲想と旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 音色、旋律、音の重なり、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 互いの声や音を聴き合いながら階名で歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、音の高低に対する感覚を養う。		

7 - 9	4. せいかつの 中に ある 音を 楽しもう 扱い時数6 ☆なきごえを つかって あそぼう ・みの まわりの 音を こえで あらわして、音楽を つくりましょう。 (共)虫の こえ ・かし(・・)の かんじを 生かして うたいましょう。	【知・技】 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、身の回りの様々な音の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 身の回りの音の音色や強弱、音の重なり、反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったりする。
		【態】 身の回りの音の感じを声で表す学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくりの学習活動に取り組み、身の回りの音への意識を高める態度を養う。
9 - 10	5. リズムを かさねて 楽しもう 扱い時数 8 ◇この 空 とぼう (そだてよう)2びょうしで リズムあそび② ・2びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。 ◇〇いるかは ざんぷらこ ・3びょうしの はくに のって リズムを うちましょう。 ◇山の ポルカ ・はくに のって 楽しく がっそうしましょう。	【知・技】 曲想とリズムや音の重なり、拍などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、器楽の技能を身に付ける。
		【思・判・表】 リズム、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。
		【態】 拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組み、拍子やリズムに対する感覚を養う。
10 - 11	6. くりかえしを 見つけよう 扱い時数6 〇かねが なる ・せんりつの くりかえしに 気を つけて うたいましょう。 ☆おまつりの 音楽 ・くりかえしを つかって 音楽を つくりましょう。 ♪トルコ こうしんきょく ・せんりつの くりかえしに 気を つけて ききましょう。	【知・技】 曲想と反復などの音楽の構造との関わり、リズムやフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能や、反復を用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 リズム、旋律、フレーズ、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、リズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 旋律やリズムの反復に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律やリズムの反復に親しむ。

11 - 12	7. いろいろな がっきの 音を さがそう 扱い時数 6 ♪だがっき パーティー ・いろいろな がっきの 音の 中から すきな 音を さがしましょう。 ☆がっきで おはなし ・がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。 ◇○かぼちゃ ・いろいろな がっきの 音を かさねて えんそうしましょう。	【知・技】 曲想と音色などの音楽の構造との関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わり、楽器の音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や歌声、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能や、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能、反復や呼びかけとこたえを用いて、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、リズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、楽器やリズムの組み合わせ方を工夫し、どのように音を音楽にしていくなについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 楽器の音色に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる楽器の音色に親しむ。
12	8. ようすをおもいうかべよう 扱い時数 7 ○あのね、のねずみは ・かし(・・)や 音楽の かんじを 生かして うたいましょう。 ♪たまごの からを つけた ひなどりの パレエ ・音楽が あらわす ようすを おもいうかべながら ききましょう。 (共)タやけこやけ ・かし(・・)の ようすを おもいうかべながら うたいましょう。 ◇○小ぎつね ・かし(・・)の ようすを おもいうかべながら うたったり ふいたり しましょう。	【知・技】 曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わり、楽器の音色と演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 曲想と音楽を形づくっている要素や歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。
1 - 2	9. 日本の うたで つながろう 扱い時数4 ♪ずいずい ずっころばし／ あんたがた どこさ ○なべ なべ そこ ぬけ ・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。 ☆名前で せんりつあそび ・3つの 音で せんりつを つくって あそびましょう。	【知・技】 曲想と旋律や拍などの音楽の構造との関わり、言葉の抑揚について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律、拍、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、旋律遊びを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 わらべうたに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、ほかのわらべうたにも親しむ。

2 - 3	<div>10. みんなで あわせて 楽しもう</div> <div>抜い時数10</div> <div>○楽しいね</div> <div>・たがいの うたごえを ききあいながら うたいましょう。</div> <div>○◇こぐまの 二月</div> <div>・うたごえと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。</div> <div>♪エンターティナー</div> <div>・がっそうの 楽しさを あじわいながら ききましょう。</div> <div>(共)はるが きた</div> <div>・みんなで 気持ちを あわせて うたいましょう。</div>	<div>【知・技】</div> <div>曲想と音色や旋律などの音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりについて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりする技能や、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。</div> <div>-----</div> <div>【思・判・表】</div> <div>音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように表現するかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</div> <div>-----</div> <div>【態】</div> <div>歌声や楽器の音色、声や音を合わせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、友達と一緒に表現する楽しさを感じる。</div>
-------	--	---

第3学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知識・技能】		曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を十分に身に付けている	曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表たい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【思考・判断・表現】		曲の特徴をとらえ表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって表現している。曲や演奏のよさなどを見出しながら曲全体を味わって聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴いている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【態度】		進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標		評価規準	
4	1. 音楽で 心をつなげよう 扱い時数6 ○ハッピーソング ・友だちと声を合わせて歌いましょう。 (そだてよう)リズムでなかよくなろう (共)春の小川 ・春の様子を思いうかべて、歌い方をくふうしましょう。 (共)茶つみ ・曲のかんじを生かして歌いましょう。	【知・技】 曲想とリズム、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 リズム、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ----- 【態】 曲の感じを生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。		
6	2. 歌って 音の高さを かんじとろう 扱い時数 4 ○◇ドレミで歌おう ・音の高さに気をつけながら、歌ったりえんそうしたりしましょう。 ○◇海風きって ・楽器と合わせて、明るい声で歌いましょう。	【知・技】 曲想と旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして表現する技能や、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 旋律、音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 ----- 【態】 音の高さを感じて表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、読譜に親しむ。		

6	3. リコーダーの ひびきに 親しもう 扱い時数 8 ヘッドピースで音あそび ♪小鳥のために（参考曲） （導入）はじめましてリコーダー ♪ピタゴラスイッチ （導入）リコーダーと友だち （そだてよう）いろいろなシの音であそぼう （導入）タンギングと息の使い方 ◇ふいてみよう①（シ・ラ）／ ふいてみよう②（シ・ラ・ソ）／ きれいな ソラシ ・タンギングに気をつけてきれいな音でふきましょう。 ◇坂 道／雨上がり （そだてよう）いろいろな音であそぼう ・息の使い方に気をつけて歌うようにふきましょう。	【知・技】 リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する基本的な技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、リズム、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。
		【態】 リコーダーの音色や演奏の仕方に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。
9	4. 拍にのって リズムを かんじとろう 扱い時数9 ◇○ゆかいな木きん ・2拍子にのってえんそうしましょう。 ◇○あの雲のように ◇アチャ パチャ ノチャ ・拍子のかんじを生かしてえんそうしましょう。 ☆手拍子でリズム ・くりかえしや変化を使って、 まとまりのあるリズムをつくりましょう。	【知・技】 曲想と拍などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能や、拍にのって音を合わせて演奏する技能、反復や変化を用いて、まとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 リズム、旋律、拍、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識したリズムをつくるかについて思いや意図をもったりする。
		【態】 拍子やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくりの学習活動に取り組む。
10	5. せんりつの とくちょうを かんじとろう 扱い時数 7 ○◇とどけよう このゆめを ・せんりつの音の上がり下がり気をつけて歌いましょう。 ♪メヌエット ・せんりつの音の上がり下がり気をつけてききましょう。 (共)ふじ山 ・曲の山をかんじながら歌いましょう。 (共)うさぎ ・日本に古くからつたわるせんりつのよさをかんじとって 歌いましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。
		【態】 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、旋律の特徴を生かした表現に親しむ。

11	6. せんりつの 重なりを かんじとろう 扱い時数 6 ♪か ね ・せんりつの重なりを楽しみながら、 きいたり歌ったりしましょう。 ◇メリーさんのひつじ ・せんりつの重なりをきき合ってえんそうしましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、音色、旋律、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、旋律、音の重なり、反復などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞、歌唱、器楽の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。
12 - 1	7. いろいろな 音のひびきに 親しもう 扱い時数 6 ♪トランペットふきの休日 ・トランペットの音色に親しんでききましょう。 ◇パ フ ・重なり合う音のひびきをかんじとりながら合奏しましょう。 ☆クロック ミュージック ・時間のながれに合わせて、音楽をつくりましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、楽器の組合せや音の重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現に必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 楽器の音色や重なり合う音の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。
2	8. ちいきに つたわる音楽で つながろう 扱い時数 5 ♪神田囃子「投げ合い」 ・祭りばやしのとくちょうをかんじとりましょう。 ☆ラ(ドレ - -) の音でせんりつづくり ・3つの音で、自分たちのおはやしをつくりましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、速度などの音楽の構造との関わりや、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音の上がり下がりを感じ取って、旋律をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、リズム、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら祭り囃子を味わって聴いたりする。
		【態】 祭り囃子に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、郷土に伝わる音楽に親しむ。

3	<p>9. 思いを音楽で 表そう 扱い時数 6</p> <p>○帰り道 ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、 曲のかんじを生かして歌いましょう。</p> <p>◇エーデルワイス ・いろいろな楽器の音の重なりを楽しみながら 合奏しましょう。</p>	<p>【知・技】</p> <p>曲想と音色、旋律、フレーズなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>
		<p>【思・判・表】</p> <p>音色、旋律、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p>
		<p>【態】</p> <p>自分の思いを音楽で表現することへの興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、友達と協力して表現の工夫をする態度を育む。</p>

第4学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
	【知識・技能】	曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、思いや意図に合った音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を十分に身に付けている	曲想と音楽の構造などとの関わりに気付くとともに、表たい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【思考・判断・表現】	曲の特徴をとらえ表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもって表現している。 曲や演奏のよさなどを見出しながら曲全体を味わって聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴いている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【態度】	進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標		評価規準	
4	1. 音楽で心の輪を広げよう 扱い時数 4 ○小さな世界 ・友達と声を合わせて歌いましょう。 (そだてよう) リズムでなかよくなろう① (共) さくら さくら ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、言葉のまとまりを大切に歌いましょう。	【知・技】 曲想と旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 リズム、旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 ----- 【態】 声を合わせて歌ったり、歌詞の様子を思い浮かべながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。		
5 - 6	2. 歌声のひびきを 感じ取ろう 扱い時数 7 ○◇いいこと ありそう ・音の高さに気をつけながら、明るい声で歌いましょう。 ○◇風のメロディー ・リコーダーと歌声のひびきを合わせましょう。 ♪パパゲーノ とパパゲーナの二重唱 ・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りましょう。 (共) まきばの朝 ・歌詞の表す様子を思いうかべながら、のびやかな声で歌いましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、音色、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。 ----- 【思・判・表】 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 ----- 【態】 歌声に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な歌声の響きに親しむ。		
6 - 7	3. いろいろなリズムを 感じ取ろう 扱い時数 8 ◇クラッピング ファンタジー 第7番 楽しいマーチ ・手拍子のリズムアンサンブルを楽しみましょう。 (そだてよう) リズムでなかよくなろう② ◇○いろんな木の実 ♪ピーナッツ ベンダー（参考曲）	【知・技】 曲想とリズムなどの音楽の構造との関わり、言葉のリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能や、反復や変化、呼びかけとこたえを用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。		

	<p>・リズムばんそうのおもしろさに注目して えんそうしたり歌ったりしましょう。</p> <p>☆言葉でリズムアンサンブル ・くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。</p>	<p>【思・判・表】 リズム、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>【態】 拍子やリズムが生み出すよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろなリズムに親しむ。</p>
7	<p>4. ちいきにつたわる音楽に 親しもう 扱い時数3</p> <p>♪こきりこ ・ちいきにつたわる音楽をききましょう。</p> <p>(チャレンジ) ちいきにつたわるおどりやまいの 音楽を調べよう</p>	<p>【知・技】 曲想及びその変化と、音色、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付く。</p> <p>【思・判・表】 日本の民謡の歌声や楽器の音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴く。</p> <p>【態】 日本の民謡や地域に伝わる音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組み、日本の民謡や地域に伝わる音楽の特徴やよさに親しむ。</p>
9 - 10	<p>5. せんりつのとくちょうを感じ取ろう 扱い時数8</p> <p>○ゆかいに歩けば ・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。</p> <p>◇陽気な船長 ・せんりつのとくちょうに合ったふき方でえんそうしましょう。</p> <p>♪白 鳥 ♪堂々たるライオンの行進(参考曲) ・せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。</p> <p>(共) とんび ・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。</p>	<p>【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能を身に付ける。</p> <p>【思・判・表】 音色、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴に捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>【態】 旋律の特徴に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の特徴に親しむ。</p>

10 - 11	6. せんりつの重なりを 感じ取ろう 扱い時数9 ○パレード ホッホー ♪ファランドール ・せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。 ◇オーラ リー ・せんりつが重なり合う美しさを感じ取ってえんそうしましょう。 (共)もみじ ・声が重なり合う美しさを感じ取って歌いましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や楽器の音、副次的な旋律、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【感】 旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる旋律の重なりに親しむ。
11 - 12	7. いろいろな音のひびきを楽しもう 扱い時数8 ☆打楽器の音楽 ・音のとくちように注目して、音楽をつくろう。 ♪ポロネーズ ♪茶色の小びん（参考曲） ・フルートの音色を味わってききましょう。 ◇茶色の小びん ・ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	【知・技】 曲想とその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能、音楽づくりの技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【感】 楽器の材質や音の出る仕組みに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られるいろいろな音の響きに親しむ。
1 - 2	8. 日本の音楽でつながろう 扱い時数5 こと（・・） ♪独奏による主題と6つの変奏 「さくら」から ♪津軽じょんから節（参考曲）／ ていんさぐぬ花（参考曲） ・ことの音色に親しみながらききましょう。 (チャレンジ) こと（・・）をひいてみよう ☆「さくら さくら」の音階で せんりつづくり ・日本の音階のよさを感じ取りながら、せんりつをつくりましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、反復を用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へ構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【感】 日本の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の楽器の音や音階に親しむ。
3	9. 思いを音楽で表そう 扱い時数8 ○赤いやねの家 ・曲の気分を生かして歌いましょう。 ◇鉄わんアトム ・曲の気分を感じ取って合奏しましょう。 ♪山の魔王の宮殿にて ♪朝の気分（参考曲） ・音楽が表している様子を思いうかべながらききましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 速度、旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【感】 曲想を感じ取ることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、曲に対する思いや曲のよさなどを、友達と共有する態度を育てる。

第5学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
【知識・技能】		・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、それらが生み出すよさや面白さを理解し、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を十分に身に付けている。	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【思考・判断・表現】		曲の要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取り、音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもっている。 音楽の要素や仕組みと、表現されている音楽との関係を考え、味わいながら聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図を持つことや、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
【態度】		主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しんだり、過去の学習内容と新しく学んだことを関連付けたり、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして明るく潤いのあるものにしようとしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標		評価規準	
4 - 5	1. 歌声をひびかせて 心をつなげよう 扱い時数 4 ○すてきな一歩 ・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。 (共)こいのぼり ・曲の特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。	【知・技】 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。		
		【思・判・表】 音色、リズム、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。		
		【態】 曲の特徴を生かして歌う学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。		
5 - 6	2. 音の重なりを 感じ取ろう 扱い時数 5 ◇小さな約束 ・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。 ○いつでもあの海は ・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。 ♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 ・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、リコーダーを演奏する技能や、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。		
		【思・判・表】 旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。		
		【態】 楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる音の重なりに親しむ。		

7	<p>3. いろいろな音の ひびきを味わおう 扱い時数 8</p> <p>◇リボンのおどり(ラ パンパ) ・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながら演奏しましょう。</p> <p>♪祝典序曲 ♪アフリカン シンフォニー（参考曲） ・オーケストラのひびきに親しみましょう。</p> <p>☆打楽器でリズムアンサンブル ・打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。</p>	<p>【知・技】 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。</p>
		<p>【思・判・表】 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p>
		<p>【態】 音を合わせて表現したり、オーケストラの音楽を聴いたりすることに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器やオーケストラの響きに親しむ。</p>
9 - 10	<p>4. 和音のひびきの 移り変わりを 感じ取ろう 扱い時数 6</p> <p>○◇静かにねむれ ・和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら歌いましょう。</p> <p>○こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore) ♪こげよ マイケル（参考曲） ・和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら合唱しましょう。</p> <p>☆「静かにねむれ」の和音で旋律づくり ・和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら旋律をつくりましょう。</p>	<p>【知・技】 曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能や、呼びかけとこたえや変化など、これまで学んだ音楽の仕組みを用いて、旋律をつくる技能を身に付ける。</p>
		<p>【思・判・表】 旋律、音の重なり、和音の響き、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもったりする。</p>
		<p>【態】 和音の響きやその移り変わりを感じ取る学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、和音の響きに親しむ。</p>
11	<p>5. 曲想の変化を 感じ取ろう 扱い時数 5</p> <p>○夢の世界を ・曲想の変化を感じ取って、明るい声で歌いましょう。</p> <p>◇キリマンジャロ ・曲想を生かして合奏しましょう。</p>	<p>【知・技】 曲想と音色や旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。</p>
		<p>【思・判・表】 音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p>
		<p>【態】 曲想の変化を感じ取る学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、他者と力を合わせて一つの音楽をつくり上げる態度を養う。</p>

12	6. 詩と音楽との関わりを 味わおう 扱い時数 6 ♪待ちぼうけ ♪赤とんぼ（参考曲）／ この道（参考曲） ・詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。 (共)冬げしき ・歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。 (共)スキーの歌 ・曲想を生かして歌いましょう。	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 リズム、旋律、強弱、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 詩と音楽との結び付きについて考える学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本語の歌曲などに親しむ。
1 - 2	7. 日本の音楽に親しもう 扱い時数 5 ♪春の海 ・曲想の変化を感じ取りながら、日本の楽器のひびきを味わってききましょう。 (共)子もり歌 ・日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。 ♪ソーラン節／かりぼし切り歌 ♪小さな淡黄色の馬（参考曲） ・音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。 (チャレンジ)日本の民謡めぐり	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、旋律、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 日本の音楽に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本の音楽のよさなどを味わう感性を育む。
2 - 3	8. 思いを表現に生かさう 扱い時数 5 ◇威風堂々 ♪威風堂々 第1番 ・きいている人に、音楽の盛り上がりが伝わるように演奏しましょう。 ○それぞれの空 ・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	【知・技】 曲想と音色や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能、各声部の楽器の音や歌声、全体の響き、伴奏を聴いて、音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、旋律、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。
		【態】 思いを表現に生かす活動に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。

第 6 学年

		A十分満足できる	Bおおむね満足できる	評価方法
	【知識・技能】	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、それらが生み出すよさや面白さを理解し、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を十分に身に付けている。	・曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【思考・判断・表現】	曲の要素の働きが生み出すよさや面白さを感じ取り、音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもっている。 音楽の要素や仕組みと、表現されている音楽との関係を考え、味わいながら聴いている。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図を持つことや、曲や演奏のよさなどを見出しながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
	【態度】	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しんだり、過去の学習内容と新しく学んだことを関連付けたり、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして明るく潤いのあるものにしようとしている。	演奏の聴取 ワークシート 活動の観察
月	単元名・教材名・時数・指導目標	評価規準		
4 - 5	1. 歌声をひびかせて 心をつなげよう 扱い時数 6	<div>【知・技】 曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱の技能を身に付ける。</div> <div>-----</div> <div>【思・判・表】 音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</div> <div>-----</div> <div>【態】 曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。</div>		
6 - 7	2. いろいろな音の ひびきを味わおう 扱い時数 7	<div>【知・技】 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現や、発想を生かした表現をするために必要な、器楽や音楽づくりの技能を身に付ける。</div> <div>-----</div> <div>【思・判・表】 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得たり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについての思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</div> <div>-----</div> <div>【態】 いろいろな音色が重なって生まれる響きに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、声の響きに親しむ。</div>		

9 - 10	3. 和音のひびきや 音の重なりを 感じ取ろう 扱い時数9	【知・技】 曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能、音楽の縦と横との関係などを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律、音の重なり、和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。
		【態】 和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、旋律をつくったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱、器楽、音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる和音の響きや音の重なりに親しむ。
11	4. 曲想の変化を楽しもう 扱い時数 4	【知・技】 曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 音色、速度、旋律、強弱、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 曲想の移り変わりを味わいながら、歌ったり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる曲想の変化を味わう。
11 - 12	5. 詩と音楽との関わりを 味わおう 扱い時数 7	【知・技】 曲想及びその変化と、旋律や強弱、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。
		【思・判・表】 旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。
		【態】 歌詞と旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどを味わう学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽に見られる詩と音楽との関わりを味わう。

12 - 1	6. 日本や世界の音楽に 親しもう 扱い時数4	<div>【知・技】 曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</div> <div>【思・判・表】 音色、旋律、音の重なり、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴を生かして、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本や世界のいろいろな国の音楽のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</div> <div>【態】 日本や世界のいろいろな国の音楽の特徴を味わう学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。</div>
2 - 3	7. 音楽で思いを伝えよう 扱い時数9	<div>【知・技】 曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。</div> <div>【思・判・表】 音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</div> <div>【態】 音楽で思いを伝える活動に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。</div>